

「事務をつかさどる」と向き合おう！



つか
さどる

背景 ～主な提言、制度改正～

■ 平成 27 年 12 月

「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」（中央教育審議会答申）

- 学校の事務が複雑化・多様化しているに伴い、事務職員が、より権限と責任を持って学校の事務を処理することが期待されている。
- 事務機能の強化を推進するため、事務の共同実施組織の制度を整備する。

■ 平成 29 年 3 月

学校教育法等の一部改正 第三十七条 14 項 職務規定の見直し

- 「事務職員は、事務に従事する」 ⇒ 「事務職員は、事務をつかさどる」



つか
さどる

「従事する」と「つかさどる」の意味

従事する

- ・ 特定の仕事や業務に携わり、その業務を行うこと。
- ・ その仕事に関わっている、実務をしている。

「担当者」というニュアンス

つかさどる

- ・ 職務として担当すること、担うこと。
- ・ 責任を持って管理主導する、任務を取り仕切る。

中心的な役割・専門職

つか
さどる

山口県の学校事務職員にとっての「つかさどる」とは

- 令和元年度に実施したアンケートより



多く使われていた言禁

「主体的に」 「積極的に」 「責任感をもって」

イメージ

「従事する」=定められた事務を遂行する。
 「つかさどる」=専門性を生かし、責任をもって事務部門を担っていく。学校課題を把握し、主体的・積極的に校務運営に参画する。



① 「事務をつかさどる」とは、あなたにとってどういうことですか？

- 思い浮かぶこと
- キーワード
- 「従事する」と何が違う？
- どんな心構えが必要？



② 学校事務職員が「つかさどる」役割を実現するために、具体的にどんなことができると思いますか？

- これまでの仕事で「つかさどっていた」と思える瞬間は？
- 日々の仕事の工夫
- 校長、教頭との関わり方
- 児童生徒への影響
- 保護者や地域との関係

